

資料 1

検診機関ががん検診実施体制

(平成 22 年度)

平成 22 年 10 月

富山県厚生部健康課

平成22年度胃がん検診実施体制

調査項目		富山県健康増進センター	富山市医師会健康管理センター	北陸予防医学協会	社会保険高岡病院	富山県厚生農業協同組合連合会 高岡健康管理センター	滑川健康管理センター	日本健康倶楽部北陸支部	友愛健康医学センター
受診者への説明	要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを事前に明確に知らせているか	○	○	○	○	○	△ 必要に応じて	○	○
	精密検査の方法や内容について説明しているか	○	○	○	○	○	△ 必要に応じて	○	○
問診および撮影の精度管理	精密検査の結果の市町村への報告などの個人情報取り扱いについて、受診者に対して十分な説明を行っているか	○	○	○	○	○	△ 掲示にて	○	○
	問診項目は、問診及び胃部X線検査として行っているか	○	○	○	○	○	○	○	○
撮影枚数	問診は現在の病状、既往歴、家族歴、過去の検診の受診状況を聴取しているか	○	○	○	○	○	○	○	○
	問診記録は少なくとも5年間は保存しているか	○	○	○	○	○	○	○	○
撮影機器の種類（直接・間接・DR撮影、I. I方式等）を明らかにしているか。（原則、間接撮影で、10×10cm以上のフィルムでI. I方式）	撮影機器の種類（直接・間接・DR撮影、I. I方式等）を明らかにしているか。（原則、間接撮影で、10×10cm以上のフィルムでI. I方式）	○ I. I間接、直接、DR	○ I. I間接、直接、DR	○ 直接、間接、DR	○ 直接、間接	○ 直接、DR	○ 直接	○ I. I間接、DR	○ I. I間接、直接、DR
	撮影枚数	直接1.2枚、間接8枚	8枚	8枚	8枚	8枚	8枚	8枚	8枚
撮影の体位及び方法は日本消化器がん検診学会の方式によるものとしているか注2)	撮影の体位及び方法は日本消化器がん検診学会の方式によるものとしているか注2)	○	○	○	○	○	○	○	○
	造影剤の使用に当たっては、その濃度を適切に（180～220W/V%の高濃度バリウム、120～150mlとする）保つとともに、副作用等の事故に注意しているか	○	○	○	○	○	○	○	○
撮影技師数 うち日本消化器がん検診学会認定の胃がん検診専門技師数	撮影技師数 うち日本消化器がん検診学会認定の胃がん検診専門技師数	17名 /1名	12名 /1名	13名 /3名	10名 /5名	12名 /2名	12名 /1名	5名 /0名	7名 /2名

平成22年度胃がん検診実施体制

調査項目	調査項目							
	富山県健康増進センター	富山市医師会健康センター	北陸予防医学協会	社会保険高岡病院	富山県厚生農業協同組合連合会 高岡健康管理センター	滑川健康管理センター	日本健康倶楽部北陸支部	友愛健康医学センター
読影の精度管理	読影医師数 うち日本消化器がん検診学会認定の胃がん検診専門医師数	43名 /1名	15名 /1名	7名 /1名	6名 /1名	6名 /0名	4名 /0名	2名 /0名
	読影は二重読影か うち、1人は日本消化器がん検診学会認定医か	○/○	○/○	○/○	○/○	○/○	○/○	○/○
システムと精度管理	X線写真は少なくとも3年間は保存しているか	○	○	○	○	○	○	○
	検診結果は少なくとも5年間は保存しているか	○	○	○	○	○	○	○
システムと精度管理	精密検査結果及び治療注3) 結果の報告を、精密検査実施機関から受けているか	○	○	○	○	○	○	○
	診断のための検討会や委員会(第三者の胃がん専門家を交えた会)を設置しているか	○	○	○	○	○	○	○
システムと精度管理	実施主体へのがん検診の集計・報告は、地域保健・健康増進事業報告に必要な項目で集計しているか	○	○	○	○	○	○	○
		○	○	○	○	○	○	○

注1) 本チェックリストは「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」一部改正(平成18年3月通達)に基づき作成した

注2) 新・撮影法・変法、直接撮影法、DR(Digital Radiography)及びFPD(Flat Panel Detector)による撮影法は、日本消化器がん検診学会発行、新・胃X線撮影法(間接・直接)ガイドライン(2005)を参照

注3) 組織や病期把握のための内視鏡治療など

平成22年度子宮がん検診実施体制

調査項目	富山県健康増進センター	富山市医師会健康管理センター	北陸予防医学協会	社会保険高岡病院	富山県厚生農業協同組合連合会		日本健康倶楽部北陸支部	友愛健康医学センター
					高岡健康管理センター	滑川健康管理センター		
受診者への説明	要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることとを事前に明確に知らせているか	○	○	○	○	○	○	○
	精密検査の方法や内容について説明しているか	○	○	○	○	○	○	○
	精密検査の結果の市町村への報告などの個人情報取り扱いについて、受診者に対し十分な説明を行っているか	○	○	○	○	△ 掲示にて	○	○
問診・視診の精度管理	問診項目は、子宮頸部の細胞診のほか、問診、視診、及び内診としているか	○	○	○	○	○	○	○
	問診は、妊娠及び分娩歴、月経の有状況、不正性器出血等の症状の有無、過去の検診受診状況等を聴取しているか	○	○	○	○	○	○	○
	問診の上、症状（体がんの症状を含む）のある者には、適切な医療機関への受診勧奨を行っているか	○	○	○	○	○	○	○
	問診記録は少なくとも5年間は保存しているか	○	○	○	○	○	○	○
	視診は臍鏡を挿入し、子宮頸部の状況を観察しているか	○	○	○	○	○	○	○

平成22年度子宮がん検診実施体制

調査項目	富山県健康増進センター	富山市医師会健康管理センター	北陸予防医学協会	社会保険高岡病院	富山県厚生農業協同組合連合会		日本健康倶楽部北陸支部	友愛健康医学センター
					高岡健康管理センター	滑川健康管理センター		
がん発見例は、過去の細胞所見の見直しを行っているか	○	○	○	○	○	○	○	○
標本は少なくとも3年間は保存しているか	○	○	○	○	○	○	○	○
検診結果は少なくとも5年間は保存しているか	○	○	○	○	○	○	○	○
システムと精密検査結果及び治療注3)結果の報告を、精密検査実施機関から受けているか	○	○	○	○	○	○	○	○
診断のための検討会や委員会(第三者の子宮頸がん専門家を交えた会)を設置しているか	○	○	○	○	○	○	○	○
実施主体へのがん検診の集計・報告は、地域保健・健康増進事業報告に必要な項目で集計しているか	○	○	○	○	○	○	○	○

注1) 日本臨床細胞学会 細胞診精度管理ガイドライン参照

注2) 日本母性保護産婦人科医学会の分類：日本母性保護産婦人科医学会編集、子宮がん検診の手引き参照 Bethesda System による分類：The Bethesda System for Reporting Cervical Cytology second edition およびベセスダシステム2001 アトラス 参照

注3) 組織や病期把握のための治療など

平成22年度肺がん検診実施体制

調査項目	富山県健康増進センター	富山市医師会健康管理センター	北陸予防医学協会	社会保険高岡病院	富山県厚生農業協同組合連合会		日本健康倶楽部北陸支部	友愛健康医学センター
					高岡健康管理センター	滑川健康管理センター		
受診者への説明	○	○	○	○	○	△ 必要に応じて	○	○
要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを事前に明確に知らせているか	○	○	○	○	○	△ 必要に応じて	○	○
精密検査の方法や内容について説明しているか	○	○	○	○	○	△ 掲示にて	○	○
精密検査の結果の市町村への報告などの個人情報取り扱いについて、受診者に対し十分な説明を行っているか	○	○	○	○	○	○	○	○
禁煙及び防煙指導等、肺がんに関する正しい知識の啓発及を行っているか	○	○	○	○	○	○	○	○
検診項目は、問診、胸部X線検査、および喀痰細胞診を行っているか	○	○	○	○	○	△ 喀痰は希望者、かつ痰の出る者	○	○
問診は喫煙歴および血痰の有無を聴取しているか	○	○	○	○	○	○	○	○
問診記録は少なくとも5年間は保存しているか	○	○	○	○	○	○	○	○
肺がん診断に適切な胸部X線撮影を行っているか注1)	○	○	○	○	○	○	○	○
撮影機器 (間接撮影)	シールド(mm)	100mm	100mm	100mm	100mm	—	100mm	100mm
	定格出力 (KV以上)	150KV以上	150KV以上	150KV以上	150KV以上	—	150KV以上	150KV以上
	管電圧 (KV以上)	125KV以上	135KV以上	130KV以上	120KV以上	—	120KV以上	120KV以上
撮影機器 (直接撮影)	希土類蛍光板	使用	使用	使用	使用	—	使用	使用
	定格出力 (KV以上)	150KV以上	150KV以上	150KV以上	150KV以上	—	150KV以上	150KV以上
	管電圧 (KV以上)	125KV以上	135KV以上	130KV以上	130KV以上	—	120KV以上	130KV以上
	希土類シールド	使用	使用	使用	使用	—	使用	使用

平成22年度肺がん検診実施体制

調査項目	富山県健康増進センター	富山市医師会健康管理センター	北陸予防医学協会	社会保険高岡病院	富山県厚生農業協同組合連合会		日本健康倶楽部北陸支部	友愛健康医学センター
	大角	大角、半切	大角	大角	高岡健康管理センター	滑川健康管理センター	大角、半切	大角
フィルムサイズ	大角	大角、半切	大角	大角	大角、半切	四ツ切	大角、半切	大角
1日あたりの実施可能人数	300人	施設内 140人 巡回 200人	300人	200人	施設検診 40人 巡回検診 80人	40人	400人	300人

平成22年度乳がん検診実施体制

調査項目	富山県健康増進センター	富山県健康センター	富山県厚生農業協同組合連合会 高岡健康センター	富山県厚生農業協同組合連合会 滑川健康センター	日本健康倶楽部 北陸支部	友愛健康医学センター
	富山県健康増進センター	富山県健康センター	富山県厚生農業協同組合連合会 高岡健康センター	富山県厚生農業協同組合連合会 滑川健康センター	日本健康倶楽部 北陸支部	友愛健康医学センター
受診者への説明	○	○	○	△ 必要に応じて	○	○
要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを事前に明確に知らせているか	○	○	○	△ 必要に応じて	○	○
精密検査の方法や内容について説明しているか	○	○	○	△ 掲示にて	○	○
精密検査の結果の市町村への報告などの個人情報取り扱いについて、受診者に対し十分な説明を行っているか	○	○	○	○	○	○
検診項目は、問診、マンモグラフィ検査、視・触診としているか	○	○	○	○	マンモグラフィは外部委託	マンモグラフィは外部委託
問診記録は少なくとも5年間は保存しているか	○	○	○	○	/	/
乳房エックス線撮影装置が日本医学放射線学会の定める仕様基準注1)を満たしているか	○	○	○	○	/	/
乳房エックス線撮影における線量および写真の画質について、第三者による外部評価をうけているか	○	○	○	○	/	/
撮影技師はマンモグラフィの撮影に関する適切な研修注2)を修了しているか	○	○	○	○	/	/
撮影技師数 うち精中委の認定技師数	9名 /7名	8名 /2名	3名 /2名	5名 /3名	3名 /3名	

平成22年度乳がん検診実施体制

調査項目	富山県健康増進センター	富山市医師会健康管理センター	北陸予防医学協会	社会保険高岡病院	富山県厚生農業協同組合連合会		日本健康倶楽部北陸支部	友愛健康医学センター
					高岡健康管理センター	滑川健康管理センター		
読影の精度管理	29名 / 29名	2名 / 2名	3名 / 3名	2名 / 2名	2名 / 2名	1名 / 1名		
読影医師数のうち精中委の認定医師数をマシモグラフィ読影講習会注2)を修了し、その評価試験の結果がAまたはBである者が、読影に従事しているか	○	○	○	○	○	○		
読影はダブルチェックを行っているか / うち1人はマシモグラフィの読影に関する適切な研修注2)を修了しその評価試験の結果がAまたはBであるか	○ / ○	○ / ○	○ / ○	○ / ○	○ / ○	- / ○		
マシモグラフィ写真は少なくとも3年間は保存しているか	○	○	○	○	○	○		
検診結果は少なくとも5年間は保存しているか	○	○	○	○	○	○		
システムと精密検査結果及び治療注3)結果の報告を、精密検査実施機関から受けているか	○	○	○	○	○	○		○
診断のための検討会や委員会(第三者の乳がん専門家を交えた会)を設置しているか	○	○	-	○	○	-		
実施主体へのがん検診の集計・報告は、地域保健・健康増進事業報告に必要項目で集計しているか	○	○	○	○	○	○		○

注1) 乳がん検診に用いるエックス線装置の仕様基準：マシモグラフィによる乳がん検診の手引きー精度管理マニュアル第3版参照

注2) マシモグラフィ撮影、読影及び精度管理に関する基本講習プログラムに準じた講習会基本講習プログラムに準じた講習会とは、検診関連6学会(日本乳癌検診学会、日本乳癌学会、日本医学放射線学会、日本産科婦人科学会、日本放射線技術学会、日本物理学物理学会)から構成されるマシモグラフィ検診精度管理中央委員会の教育・研修委員会の行う講習会等をいう。なお、これまで実施された「マシモグラフィ検診の実施と精度向上に関する調査研究」班、「マシモグラフィによる乳がん検診の推進と精度向上に関する調査研究」班および日本放射線技術学会乳房撮影ガイドライン・精度管理普及班による講習会等を含む

注3) 組織や病期把握のための治療など

平成22年度大腸がん検診実施体制

調査項目	富山県健康増進センター	富山市医師会健康管理センター	北陸予防医学協会	社会保険高岡病院	富山県厚生農業協同組合連合会		日本健康倶楽部北陸支部	友愛健康医学センター
					高岡健康管理センター	滑川健康管理センター		
検体の取り扱い	採便方法についてチラシやリーフレットを用いて受診者に説明しているか	○	○	○	○	○	○	○
	検便採取後即日(2日目)回収を原則としているか	○	○	○	○	○	○	○
	採便後は検体を冷蔵庫あるいは冷所に保存するよう受診者に指導しているか	○	○	○	○	○	○	○
	受診者から検体を回収してから自施設で検査を行うまでの間あるいは検査施設へ引き渡すまでの間、冷蔵保存しているか	○	○	○	○	即日検査	即日検査	○
	検診機関では検体を受領後冷蔵保存しているか	○	○	○	○	即日検査	即日検査	○
	検体受領後原則として24時間以内に測定しているか	○	○	○	○	即日検査	即日検査	○
	受診者への通知のための市町村への結果報告は、検体回収後2週間以内になされているか	○	○	○	○	-	3週間前後	○
	検診結果は少なくとも5年間保存しているか	○	○	○	○	○	○	○
	精密検査結果及び治療注)結果の報告を、精密検査実施機関から受けているか	○	○	○	○	○	○	○
	実施主体へのがん検診の集計・報告は、地域保健・健康増進事業報告に必要な項目で集計しているか	○	○	○	○	○	○	○

注) 組織や病期把握のための内視鏡治療など